

## バランスの大切さ

私の就職活動は周りに比べて上手くいった方ではありません。ここでは、私の失敗や後悔を少しでも皆さんに活かして欲しい、悔いのない就活をして欲しいと思い、筆を執りました。

私が就職活動を始めたのは2月末で、周りの友人との遅れを感じていました。そのため、とにかく行動しようと、多くの説明会に参加しました。説明会は、会社や仕事を知るために大事ですが、多くの説明会に参加し過ぎたと感じています。私の場合、すでに就活の軸があり、業界が絞っていました。そのため、合同説明会への参加は不要でした。また企業の人はセミナーの参加回数を気にしているとは思いますが、不参加でも選考への影響は実際それほどなかったと思います。現に私は内定先の説明会には参加していません。そのため、スタートの段階から説明会に多くの割合を費やすのは誤っていました。就職活動は、やるべきことが多いです。大別すると、自己分析と企業研究の

■ 商学部卒  
齊藤 翼



二つになると思いますが、就活を始めた段階では、しっかりと自己分析に時間を費やすべきでした。就活は後半になれば選考関係で忙しくなり、自己分析に費やす時間が少なくなるからです。また、自分を知ることなく、業界を絞ることはあり得ないと思います。セミナーは終盤のものの方が選考に直結する場合が多いため、企業研究やその他の対策は、後々でも十分です。そういった意味で、就活の各段階でのやるべきことのバランスは大事だと思います。

また、本エントリーする企業のバランスも意識すべきです。数としては30社程度が上限だと感じます。私はエントリー企業を志望度、難易度、業種等から3つの志望群に分け、セミナーへの積極的な参加、ESの早期提出、OB訪問の有無等に差を設けていました。この30社は単に志望度だけでなく、必ず内定を確保すべき企業も含めておくと、後々精神的に楽になります。

## 情報と不安

「就活は情報戦」と言われるよう、情報が命です。そのために友人と常に情報交換を密にしておくことをお勧めします。就活が進み、

次第に忙しくなりますが、友人とのコミュニケーションはストレス解消にも繋がります。また、OBOG訪問は本音ベースの話や日常の仕事のイメージが付き非常に有用です。ここで聞けた話は、面接でも説得力を持った話として使えますし、初めて話す社会人との礼儀や距離感を掴むことができ意味があります。志望度が高い企業であれば、ゼミやサークルの伝を使って少なくとも一回は訪問したほうがいいと思います。しかし、一方でネットの情報に流され過ぎないように注意してください。「みん就」や就職偏差値ばかりを見ていたら、自分の軸を見失い、無駄に不安が増幅されるだけです。

就職活動は、ほとんどの人が最初で最後の経験です。誰もが不安を感じています。そして、就活中誰もが一回は挫折します。その時こそ、周りに流されずに、自分に向き合い、自分の仕入れた情報を信じてください。綺麗事かもしれないが、就活の目的は、内定ではないと思います。大学卒業後の人生を大きく左右するものです。その選択で自分の情報を信じた末の結果は、後悔のないものだと思います。皆さんの就活の成功を願っています。頑張ってください。

## 就職活動 体験記

### 就職活動を振り返って

私が就職活動を本格的に始めたのは大学3年の2月からでした。2016年入社の就職活動は例年に比べスケジュールが大幅に変更され、先輩の体験を参考にしにくいという現状があつた為、全てに余裕を持って取り組みました。私は、早稲田大学で行われた合同説明会には参加したもの、外部の合同説明会にはほとんど参加しませんでした。理由は、人が多すぎることに加え、得ることが出来る情報が画一的で浅い情報ばかりだったからです。その代わりに、企業の個別説明会やインターンシップ、OB訪問に多くの時間を割きました。OB訪問には、先輩の紹介とキャリアセンターのOB名簿を活用し、就職活動についてと、会社や業務についての2点を主にお聞きしました。その際に気をつけたことは、会社の良い点だけをお聞きするのではなく、改善点や方法もお聞きする事です。これによって業界や会社の理解が深まるだけではなく、社員の方々の価値観や問題意識を知ることが出来ました。年次も1年目の

方から20年目の方まで、幅広くお会いして頂き、最終的には面接の前日までに30人ほどの社員の方にお会いしました。

エントリーシートに関してですが、むやみやたらに書いてみても伝わりやすい文章は書くことは難しいと思います。自分がどういう価値観のもと、何をしてきたのか、その価値観はどのように形成され、どう生かすことが出来るのか。このような事をしっかりと自分と向き合い、軸を固めてから書き始めると伝わりやすい文章を書くことが出来ると思いますし、実際の面接でも答えに詰まってしまうことも少なくなると思います。

## 後輩へのメッセージ

自分がどの業界に興味があるのか、何をしたらいいのかがわからないという後輩の皆さんも多いと思います。私も就職活動を始めた頃はそうでしたし、ただ漠然とした不安だけがありました。そんな後輩の皆さんに向けて一番言いたいことは、身体を使って行動をして下さいということです。他人ではない自分の目と耳



■ 商学部卒  
森本 祐史

で情報を得て、考えることが何よりも大切だと思います。面接に関しても、やはり最初は緊張してしまい、伝えたいことが伝えきれず終わってしまうといった経験をしてしまうと思います。ただその失敗も決して無駄なものではなく、次に生かすことが出来れば、大切な経験になります。ぜひ身体を使って動き続けてください。

最後に友人との協力に関してです。同じ境遇の仲間たちと協力し合うことで見えてきたこともありますし、息抜きもすることが出来ました。私は、友人たちがいたからこそ就職活動を乗り越えることが出来たと言つても過言ではありません。

多くの不安があるとは思いますが、自分自身としっかり向き合うことができると乗り越えることが出来ると思います。皆さんのが充実した就職活動をすることが出来るよう祈っています。頑張ってください。